

非行少年が更生していくにあたって地域社会が行えること

200790 林崎侑馬

- 1 はじめに
- 2 現在の地域社会が行っている更生支援の内容
- 3 現在の非行少年の再犯状況及びその原因
- 4 これからの地域社会が行っていくべき支援内容について
- 5 終わりに

1 はじめに

現在の日本社会は犯罪を起こした人に対しての風当たりが非常に強く、顔写真がインターネット上にアップされたりすると一生消えるものではなく、世間から犯罪を行ったなどと思われると距離を取られてしまったり就職採用時に避けられてしまったりと犯罪歴のある少年が再び社会に戻ることに難しくなっている現状がある。

そのような現状の中でも地域社会の取り組みとして非行少年たちの更生復帰支援が行われているのも事実であり実際、幅広く多くの団体による支援が行われているが非行少年が再犯を起こしてしまうケースも存在している。

本稿では、地域社会の現在の支援内容と非行少年の再犯者数、再犯原因を検討しながらこれからの地域社会がどのような更生支援を行うことが出来るか検討していきたい。

2 現在の地域社会が行っている更生支援の内容

現在、実際に活動しているボランティア団体の事例を確認しながら共通点や問題点を探っていく。

(1) 保護司

保護司とはⅠ保護観察、Ⅱ生活環境の調整、Ⅲ犯罪予防活動を行い、犯罪をした者の更生を助けるとともに、犯罪予防のための世論の啓発に努め、個人及び公共の福祉に寄与することをその使命としている団体で保護司法のもと、各都道府県に保護司会連合会を組織し、全国8か所の地方更生保護委員会が各ブロックにある刑務所や少年院からの仮釈放、仮退院、保護観察所の事務の監督などの業務を行っており保護司となるためには保護観察所の長が法務大臣に推薦し法務大臣が委嘱するという手続きにより保護司の手続きが行われる非常勤の国家公務員でもある民間のボランティアである。

次に保護司の活動内容を見ていく

Ⅰ 保護観察

保護観察は犯罪や非行をして人と定期的に面会を行い、更生を図るための遵守事項を守るよう指導するとともに、生活上の助言や就労の手助け等を行っている。

Ⅱ 生活環境の調整

生活環境の調整は少年院や刑務所に収容されている人が、釈放後にスムーズに社会復帰できるように、釈放後の帰住予定地の調査、引受人との話し合いを行い、必要な受け入れ態勢を整える活動である。

Ⅲ犯罪予防活動

犯罪予防活動は犯罪や非行を未然に防ぐとともに、罪を犯した人の更生についての理解を深めるため世論の啓発や地域社会の浄化に努める活動、講演会やワークショップ、スポーツ大会などの活動を行っている。

(2) 更生保護女性会

更生保護女性会はⅠ更生保護活動、Ⅱ矯正施設への支援、Ⅲ犯罪非行防止活動、Ⅳ地域との連携・協働活動を行い地域に活動の基盤を持ち更生保護の理解と協力を得るための運動を展開し立ち直り支援や非行防止・健全育成並びに地域の子育て支援を行っている女性のボランティア団体ですⁱⁱ。

次に更生保護女性会の活動を見ていく

Ⅰ更生保護活動は保護観察所、保護司と連携し、保護観察を受けている人に対する処遇の一環としての地域の清掃活動などの「社会貢献活動」や「就労支援活動」などの保護観察処遇への協力を行っている。

Ⅱ矯正施設への支援は刑務所や少年院などの矯正施設を訪問し、収容者を励ましたり、立ち直りのための良い環境を整えることなどに協力する活動で具体的には出所時の衣類提供などがある。

Ⅲ犯罪非行防止活動は犯罪・非行を防止し、安心して暮らせる地域社会づくりのための活動で具体的内容として薬物乱用防止活動や弁論大会などのイベントを行っている。

Ⅳ地域との連携・協働活動は住んでいる地域の一員として、更生保護関係団体・地域の関係団体と連携協働し、住みやすい地域社会づくりの貢献する活動で具体的な内容として長期休み期間の勉強教室や地域の関係団体との紙芝居や集会などを行っている。

(3) BBS 会

BBS 会はⅠともだち活動、Ⅱ社会参加活動・社会貢献活動への協力、Ⅲグループワーク、Ⅳ非行防止活動を行い、非行少年など様々な立場の少年に「兄」や「姉」のような立場で接することで少年の立ち直りや自立を支援するとともに、非行防止活動を行う青年ボランティア団体で全国に約 450 の BBS 会があり約 4500 人の会員が活動しているⁱⁱⁱ。

次に BBS 会の活動内容を見ていく

Ⅰともだち活動は非行少年に対する立ち直り支援で BBS 会員が少年とその母親と会い買い物やおしゃべりなどを通して人間関係のサポートを行い、また学校に通うことが出来るよう勉強を教えるなどの支援や保護観察中の少年に対して公園で遊んだり、グループでの活動を行う事で少年との関係を築き少年が悩んでいた将来の不安について話し合うなどの活動を行っている。

II 社会参加活動・社会貢献活動への協力は保護観察所と協力し、少年たちと共に社会奉仕活動などの様々な活動に参加することで少年たちの更生に寄与する活動である。

III グループワークはレクリエーションを通してルールを守ることやコミュニケーション能力の向上を図ることを目的としてスポーツやお菓子作りなど少年と BBS 会員がグループとなって一緒に楽しむことで少年たちが多くの人と関わる事が出来る活動である。

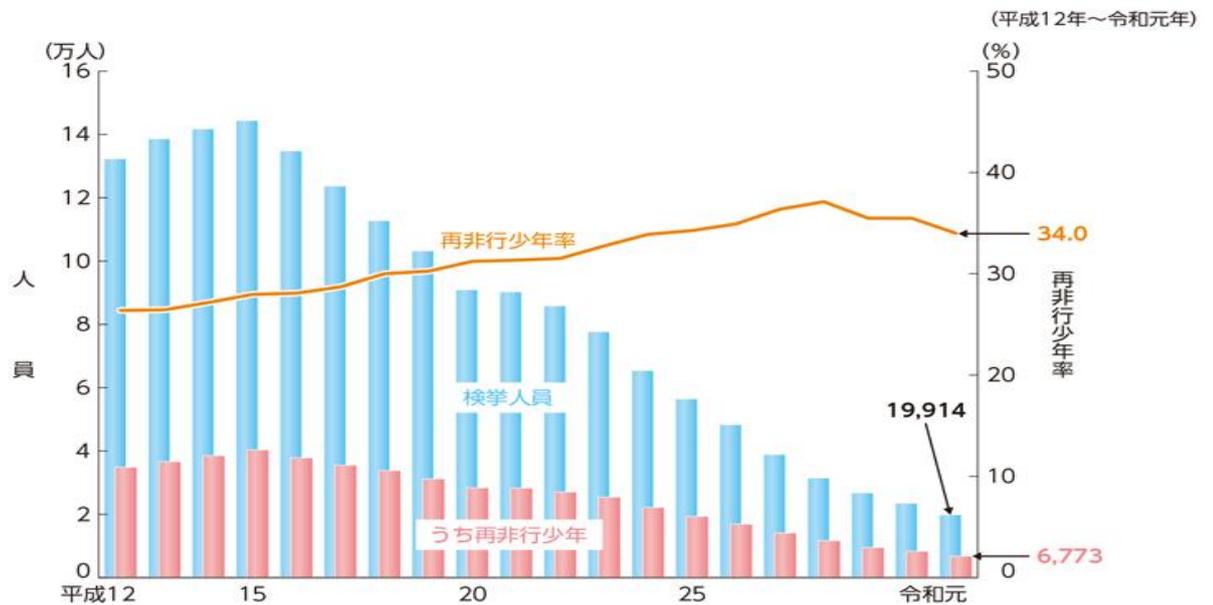
IV 非行防止活動は少年の健全育成・非行防止を目的として少年に対して子ども食堂を開き少年の孤食を防ぎ少年に居場所を作り少年のコミュニケーション能力の向上を図り他にも不登校少年に対してオンラインを活用した学習支援を行い学習支援だけでなく少年の悩みや相談に乗ることで学校や社会とから取り残される少年がない様に関りを持ち続ける活動を行っている。

(4)以上の3つのボランティア団体を見て共通している点として全ての団体で非行防止を目的とした活動が行われており中でも保護司の犯罪防止活動は非行や犯罪を未然に防ごうとする活動だけでなく罪を犯した人の更生についての理解を求めようとする活動が非行少年の社会復帰をしていく上で非常に重要な要素であると考え。次に、どの団体も少年に寄り添って活動をすることで少年の精神面の安定やコミュニケーション能力を高めようとしている点も非常に重要であると考え。次に改善されるべき点としては就労支援活動が全体的に弱いのではないかと感じる後にも述べるが再非行の理由として就職や学校に行けないという理由があり就職することでの経済的安定は再非行を防ぐのに役立つと考えるため就職支援活動の強化は必要ではないかと考える。

3 現在の非行少年の再犯状況及びその原因

現在の非行少年の検挙人員中の再非行少年の人員・再非行少年率の推移を図ivで見ると以下のようになっている

5-2-5-1図 少年の刑法犯 検挙人員中の再非行少年の人員・再非行少年率の推移



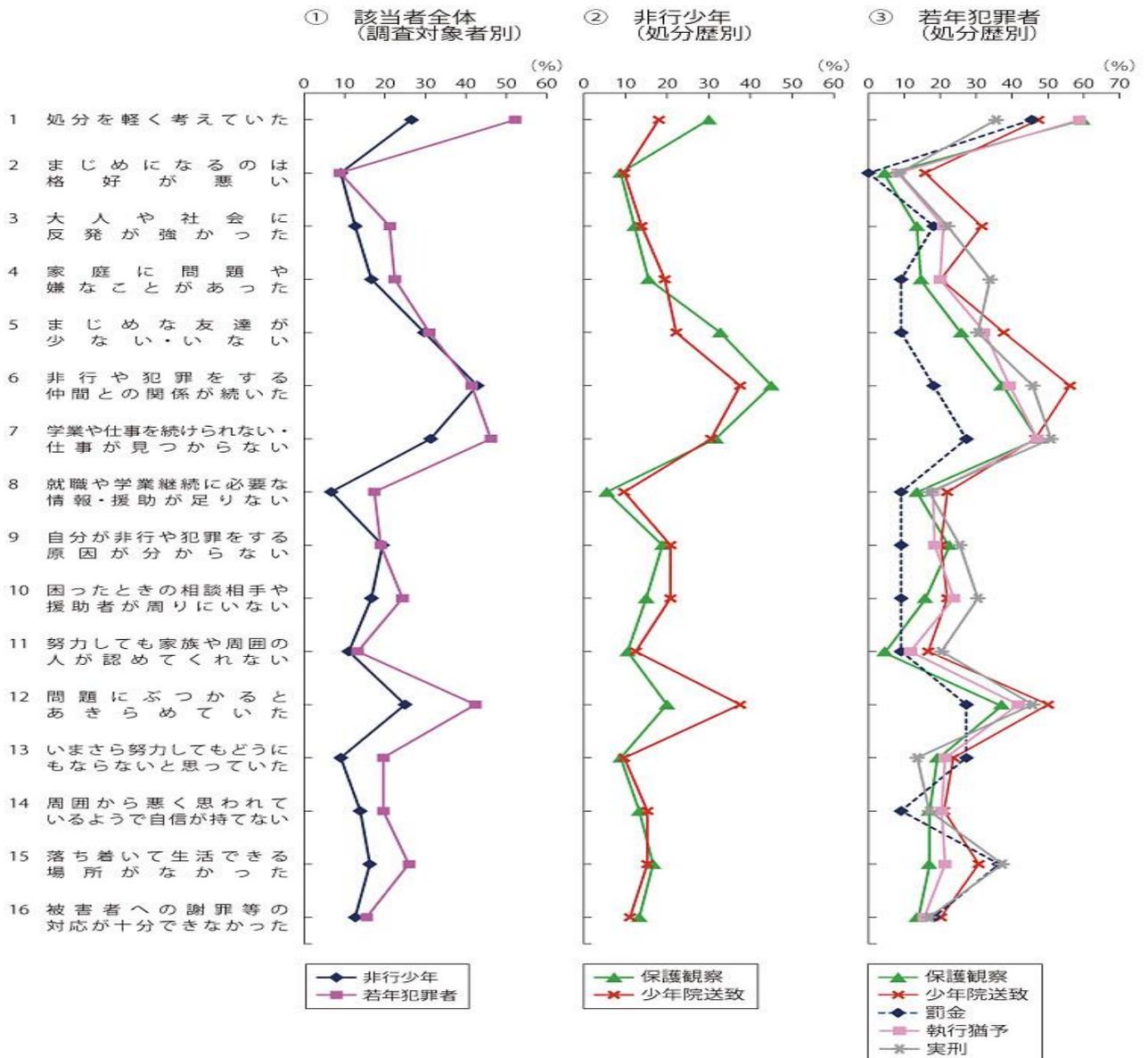
- 注 1 警察庁の統計による。
 2 犯行時の年齢による。ただし、検挙時に20歳以上であった者を除く。
 3 触法少年の補導人員を含まない。
 4 「再非行少年」は、前に道路交通法違反を除く非行により検挙（補導）されたことがあり、再び検挙された少年をいう。
 5 「再非行少年率」は、少年の刑法犯検挙人員に占める再非行少年の人員の比率をいう。

令和2年版 犯罪白書

この図から分かることとして検挙人数全体としては平成15年から令和元年にかけて大きく減少しているが検挙人数のうち再非行少年の人数は減少してはいるが大きく減少はしておらず再非行少年率は平成15年と比べても増加していることが分かる。

なぜこのように再非行少年率が減っていないかの理由として下の図に再非行・再犯に及んだ要因の認識についての要因があると考える。

7-4-3-8 図 再非行・再犯に及んだ要因についての認識（非行少年・若年犯罪者別・処分歴別）



注 1 法務総合研究所の調査による。
 2 「該当者」は、保護処分（保護観察又は少年院送致）又は刑事処分（罰金、執行猶予又は実刑）の各処分歴を有する者である。
 3 保護処分、刑事処分それぞれについて複数の処分を受けている者については、それぞれ一番重い処分歴に計上しており、刑事処分歴を有する者には、保護処分歴を有する者を含む。

平成 23 年度版犯罪白書 第 7 編第 4 章第 3 節 5

この図を見ると様々な原因が考えられるが大きな要因として「まじめな友達が少ない・いない」、「非行や犯罪をする仲間との関係が続いた」、「学業や仕事を続けられない・仕事が見つからない」、「問題にぶつかるとあきらめていた」という回答が大きな割合を占めていることが分かり非行少年たちが社会に復帰しようとしても社会から孤立してしなう事により、新たな人間関係が生まれず以前と同じように非行を行う人間との交流が続いてしまう問題、社会になじむことが出来ない事や社会が受け入れないことにより学校や仕事を

い続けることが出来ず経済的困窮や孤独に陥ってしまい再び非行に走ってしまうのではないかと考える。

4 これからの地域社会が行っていくべき支援内容について

3で述べた問題点を踏まえてこれからの地域社会が行っていくべき支援内容について検討していくが、やはりまずは社会に受け入れられないことにより新たな人間関係を気付くことが出来ないという問題を解決するために現在でも行われているが、グループワークや子ども食堂など少年たちに居場所を提供することで社会から取り残されることがないようにしていく BBS 会の活動は非常に有効であると考え。しかし BBS 会員は年齢が若い人が中心となっているため仕事に就けば年齢が近い人だけが存在しているものでは無いため幅広い年齢層の人と交流しコミュニケーション能力を向上させることが円滑な社会復帰に貢献することが出来るようになるため、少年たちとの交流という所に最も重きを置いて支援をしていくのが良いのではないかと考える。次の問題点として社会から受け入れられないことによる学校や仕事が続けられない、仕事が見つからないという問題の解決の為の支援としてまず、社会が更生し社会復帰した少年たちを受け入れることが出来るように少年たちの理解を深めてもらうことが必要であると考えそこで地域社会や政府など多くの広報活動で更生し社会復帰している人に対しての理解を得られるように学校で犯罪についてだけでなく更生した人の事を教えたり、宣伝して社会の更生した人に対しての考え方を変えていけるような活動が必要であると考え。実際、協力雇用主ⁱといわれる犯罪・非行の前科のために定職に就くことが出来ない人をその事情を理解した上で雇用し、更生に協力する民間の事業主の方々がおり、全国に約 23000 の協力雇用主がいるが、実際に雇用を行っている事業主は約 1500 にとどまっており更に建築業、サービス業、製造業が全体の 8 割を占めていることから現在でも協力雇用主には国からの支援を受ける制度があるがもっと多くの支援と世間に広くこの制度が知られ受け入れられていくことで、事業主の数の拡大と多くの業種が増えていくことで更生していく人たちの選択が増え再犯率を下げることが出来るようになる。

5 終わりに

現在の地域社会の更生支援と現在の再非行少年率・再非行原因を見ることでこれからの社会が行えることについて検討したが最も非行少年たちが社会に更生するために重要なことは社会が一度犯罪や非行を行った人たちを理解し受け入れていくことが出来るようになることであると考えため地域社会の支援から非行少年たちの捉え方を変えていけるような取り組みを行うことが重要だと今回の検討で考えた。

i 「更生保護ネットワーク 保護司とは」

<https://www.kouseihogo-net.jp/hogoshi/about.html>

ii 「更生保護ネットワーク 日本更生保護女性連盟」

https://www.kouseihogo-net.jp/hogojosei_activity/index/25

iii 「日本 BBS 連盟 BBS とは」

<http://bbs-japan.org/about/>

iv 令和 2 年版 犯罪白書

<https://www.moj.go.jp/content/001338448.pdf>

v 平成 23 年度版犯罪白書 第 7 編第 4 章第 3 節 5

https://hakusyo1.moj.go.jp/jp/58/nfm/n_58_2_7_4_3_5.html#:~:text=%E7%B7%8F%E3%81%98%E3%81%A6%EF%BC%8C%E9%9D%9E%E8%A1%8C%E5%B0%91%E5%B9%B4%E3%83%BB%E8%8B%A5%E5%B9%B4%E7%8A%AF%E7%BD%AA,%E3%82%88%E3%82%8A%E9%AB%98%E3%81%8F%E3%81%AA%E3%81%A3%E3%81%A6%E3%81%84%E3%82%8B

vi 「広島県就労支援事業者機構 協力雇用主とは？」

[https://www.hiroshima-](https://www.hiroshima-syuurou.jp/701913821#:~:text=%E5%8D%94%E5%8A%9B%E9%9B%87%E7%94%A8%E4%B8%BB%E3%81%AE%E7%8F%BE%E7%8A%B6,%E5%89%B2%E3%82%92%E5%8D%A0%E3%82%81%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82)

[syuurou.jp/701913821#:~:text=%E5%8D%94%E5%8A%9B%E9%9B%87%E7%94%A8%E4%B8%BB%E3%81%AE%E7%8F%BE%E7%8A%B6,%E5%89%B2%E3%82%92%E5%8D%A0%E3%82%81%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82](https://www.hiroshima-syuurou.jp/701913821#:~:text=%E5%8D%94%E5%8A%9B%E9%9B%87%E7%94%A8%E4%B8%BB%E3%81%AE%E7%8F%BE%E7%8A%B6,%E5%89%B2%E3%82%92%E5%8D%A0%E3%82%81%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82)